

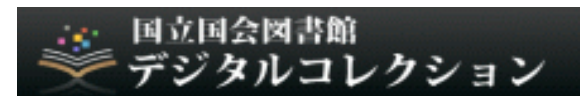
# 山本権兵衛関係文書（第1次受入分）目録

国立国会図書館憲政資料室

2020/3/17目録作成

この資料は国立国会図書館デジタルコレクションで公開しています

<http://dl.ndl.go.jp>



目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています  
国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料室の所蔵資料」

<http://rnavi.ndl.go.jp/kensei/>

リサーチ・ナビ  
国立国会図書館

山本権兵衛関係文書(第1次受入分)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
1		<a href="#">伊藤博文書簡(写) 山本権兵衛宛</a>	伊藤博文	山本権兵衛	[明治27年]7月28日	1巻	高陞号の詳細報告を求める		印刷		軸装。書簡本文は海軍大臣宛、封筒は山本宛。
2		<a href="#">伊藤博文書簡(写) 山本権兵衛宛</a>	伊藤博文	山本権兵衛	[明治38年]6月13日	1巻	海軍大捷報告拝読、皇上へ奏聞の意見書に対する感想		印刷		軸装
3		<a href="#">伊藤博文書簡(写) 山本権兵衛宛</a>	伊藤博文	山本権兵衛	[明治37年]8月15日	1巻	上村艦隊の露艦撃沈の報を聞き万歳三唱、同艦隊は悪評を一掃		印刷		軸装
4		<a href="#">伊藤博文書簡(写) 山本権兵衛宛</a>	伊藤博文	山本権兵衛	[明治28年]3月15日	1巻	前進論は形勢不通、直隸に全軍を押し出すためには相当の計画が必要		印刷		軸装
5		<a href="#">伊集院彦吉書簡 山本権兵衛宛</a>	伊集院彦吉(外務大臣)	山本権兵衛	大正12年11月26日	1通(7枚)	排日土地法に関する電報(伊集院外相発駐米埴原大使宛)を山本に転送したもの。		墨書、タイプ	外務省用箋	極秘と書込みあり
6		<a href="#">今村力三郎書簡 山本権兵衛宛</a>	今村力三郎	山本権兵衛	大正14年6月9日	1通	著書(弁護人として関わった幸徳事件、虎ノ門事件の真相を記述)の送付状		墨書		
7		<a href="#">三好徳三郎書簡 山本権兵衛宛</a>									
7	1	<a href="#">[送付状]</a>	三好徳三郎	山本権兵衛	8月5日	1通	資料番号7-2「殖民地総督に対する所感」の送付状		墨書		

山本権兵衛関係文書(第1次受入分)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
7	2	<a href="#">殖民地総督に対する所感</a>	三好徳三郎			1綴	「殖民地総督の頻々と更迭する事は統治上よくない事」等		墨書		極秘と書込みあり。もと資料番号7-1に同封。
8		<a href="#">[日露戦争開戦直前総理官邸に於ける会合覚書]</a>			明治37年1月30日	1巻	開戦か否か決断の時が迫っているという合意。参会者は桂首相、山本海相、小村外相、山県有朋。		墨書		軸装。下書き、修正あり。
9		<a href="#">虎ノ門ニ於ケル不敬事件ニ関スル調査</a>	[内務省警保局]		大正14年6月	1冊	「犯人ノ身的関係、犯人ノ思想及行動」等		印刷		特別高等警察研究資料第一。極秘印。
10		<a href="#">華府会議 覆正檄</a>	渋谷愛夫(使命道人)		大正10年12月10日	1綴	意見書		印刷[謄写(手書)]		
11		<a href="#">独逸前海相チルピッツ元帥ノ回想録ヲ読ミテ</a>	宇都宮鼎(海軍主計少将)		大正9年2月11日	1綴	「政治家、軍人連ノ回想録」等		印刷[謄写(手書)]		軍事調査研究録号外(海軍軍令部)
12		<a href="#">過激主義ノ真髓(「シオン」の決議)</a>				1綴	米国マツソン秘密結社の首領による文章を翻訳したもの		印刷[謄写(手書)]		極秘印
13		<a href="#">政変と西園寺公の奉答 後継内閣と憲政常道論</a>	城北浪人[著]、昭和同志会[発行]		昭和4年8月5日	1冊			印刷		非売品
14		<a href="#">満州事変善後私見</a>				1冊	「軍事及政治関係」等		印刷		極秘印

山本権兵衛関係文書(第1次受入分)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
15		<a href="#">正系日本思想に映ずる満蒙事変</a>	松尾小三郎[著]、財団法人奉公会[発行]		昭和6年10月10日	1冊			印刷		非売品
16		<a href="#">戦争と考課の適正 附故山本海相の選将論(『水交社記事』40-4抜刷)</a>	市来崎慶一(海軍少将)		昭和17年12月20日	1冊			印刷		
17		<a href="#">国政の更始—新案—人材本位の挙国一致内閣樹立の提唱</a>	長島岳次郎[著・発行]		昭和6年7月20日	1冊			印刷		
18		<a href="#">伏見宮殿下加奈太御通行中ニ関スル御歓迎ノ概況 能勢総領事報告</a>	能勢辰五郎(オタワ総領事)		[明治40年12月]	1冊	明治40年における伏見宮カナダ訪問時の記録		印刷		
19		<a href="#">嗚呼四十三潜水艦</a>	武富邦茂(海軍少佐)[著]、帝国在郷軍人会本部[発行]		大正13年6月4日	1冊			印刷		
20		<a href="#">尚古集成館ニ対スル所感</a>	大久保利武		大正12年6月	1綴			印刷		
21		<a href="#">戊辰之役従軍幹部名簿</a>				1綴			印刷		
22		<a href="#">明治三十七八年海戦ニ関スル外人ノ評論 卷一</a>	海軍軍令部		[明治41年]	1冊		(1)紙片、1枚、もと中表紙に挟みこみ ／(2)[艦隊誌]	印刷		秘印

山本権兵衛関係文書(第1次受入分)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
23		<a href="#">歴代総理大臣施政方針</a>	興亜文化協会[編・発行]		昭和14年	1冊			印刷		
24		<a href="#">山本権兵衛意見書</a>	山本権兵衛	桂太郎 (内閣総理大臣)	明治37年4月29日	1綴	軍資の調達方について		墨書	海軍用箋	
25		<a href="#">戦時大本営条例中改正ノ件</a>	山本権兵衛		明治36年10月	1綴	戦時大本営条例の改正案		墨書	海軍用箋	
26		<a href="#">[日露予備交渉]</a>									
26	1	<a href="#">空封筒</a>				1枚	もと資料番号26-2~3を収納		ペン		「2通入」と書込みあり、裏面に外務省用印
26	2	<a href="#">閣議決定</a>			大正12年6月19日	1綴	日露国交回復予備交渉にあたっての方針		タイプ	外務省用箋	極秘印、写印
26	3	<a href="#">[カラハンの提案を了承する閣議案]</a>	[外務省 欧米局第一課]		[大正12年11月]	2綴	カラハンの申出にそって正式交渉を開始するにあたっての方針		タイプ	外務省用箋	極秘印、写印。修正あり。
27		<a href="#">故山本伯大正十五年十月手記(原稿等)</a>									

山本権兵衛関係文書(第1次受入分)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
27	1	<a href="#">空封筒</a>				1枚	もと資料番号27-2～3を収納		ペン		
27	2	<a href="#">故伯爵が大正十五年十月カラ記述セラレタル追懐録原稿ヲ清書シタルモノ</a>	山本権兵衛		大正15年10月	1綴	手記清書。山本が朱書訂正		墨書		
27	3	<a href="#">故伯爵ノ手記ニ係ル原稿</a>	山本権兵衛		大正15年11月	1綴	手記原本		ペン、墨書	内閣用箋	
28		<a href="#">[手記]</a>									
28	1	<a href="#">征韓論に関する件 其他 付故伯爵山本海軍大将手記</a>				1綴	手記清書		ペン、墨書		
28	2	<a href="#">最も大切に保存を要す 故伯の手記</a>	山本権兵衛		昭和9年10月29日	1綴	手記原本		ペン		
28	3	<a href="#">[手記写]</a>				1綴	手記写		墨書		
29		<a href="#">精神教育資料伯爵乃木陸軍大将夫妻の最後(伯爵山本海軍大将談話手記)</a>			昭和2年1月8日	1綴	山本の談話を筆記したもの		墨書、鉛筆	三年町島津家編纂所用箋	修正あり

山本権兵衛関係文書(第1次受入分)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
30		<a href="#">[山本権兵衛伝記稿本]</a>									
30	1	<a href="#">第一編中に修正を加へたき分</a>				1綴			ペン		
30	2	<a href="#">定義</a>				1枚	幾何学用語について		鉛筆		
30	3	<a href="#">[原稿断片]</a>				2枚	乃木が死の直前に山本邸を訪ねた場面		ペン		
30	4	<a href="#">[追加原稿「故山本権兵衛の手記全編」]</a>	鶴堂〔山本権兵衛〕			54枚	資料番号27-2～3を伝記用に原稿化したもの		ペン		No.1とNo.48の原稿欠
30	5	<a href="#">[紐]</a>				1本	もと資料番号30-1～4を括っていた				
31		<a href="#">[夏島憲法起草遺跡記念標識建設関係書類]</a>									
31	1	<a href="#">封筒</a>	夏島憲法草案遺跡記念標識建設発起人	山本権兵衛	大正15年9月	1枚	もと資料番号31-2～3を収納。		墨書		

山本権兵衛関係文書(第1次受入分)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
31	2	<a href="#">夏島憲法草案遺跡記念標識建設趣旨書</a>	伊東巳代治・金子堅太郎・財部彪・加藤寛治(発起人)		大正15年7月20日	1枚			印刷		印刷は、伊東巳代治の巳が己と印刷。
31	3	<a href="#">帝国憲法起草夏島伊藤公邸趾記念建造物新営之図</a>				1枚			印刷[青焼]		
31	4	<a href="#">帝国憲法起草ニ使用セラレタル夏島伊藤公邸平面図</a>				1枚			印刷[青焼]		
32		<a href="#">Further documents concerning the British and French policy of extending the war.</a>	Wihelm Greve G.m.b.H [発行]		1940年	1冊			印刷		